

著書紹介

『ジュニアダンサーのためのバレエ食レッスン』

管理栄養学科 岸昌代先生

バレエやダンスを習う10代のジュニアダンサーへ。著者のバレエ経験や管理栄養士、公認スポーツ栄養士などの経験を基に、ダンサーとしての体の土台をつくる重要な今だからこそ知ってほしい、美しくタフに踊るための食事と栄養のすべてを詰めた本。バレエ、ダンスに限らず、新体操やフィギュアスケートなどの審美系競技の選手や保護者、指導者にも、役立つ1冊です。



著者である岸昌代先生にお話を伺いました！



憧れのダンサーのように、美しく強く踊るためには、食事はレッスンと同じくらい大切です。特に成長期は、カルシウムや鉄などの栄養素の必要量が、生涯で最も多くなります。日々の食事から、年齢、練習量に応じたエネルギーや各栄養素を補給することは、ケガを予防し、パフォーマンスを高めることに繋がります。

また食事は、エネルギーや栄養素の補給以外にも、ひとときの休息や安らぎ、心の安定や充足感、同席する人とのコミュニケーション、楽しみなど、多くのモノやコトを与えてくれます。読者が日々の食事を楽しみ、心を豊かにすることで、ダンサーとしてのモチベーションや表現力も高めてくれることを願っています。

日本家族看護学会「家族看護グッドプラクティス賞」を受賞

看護学科 倉石佳織先生

看護学科 倉石佳織先生ら研究チームの「コーエン症候群の患者・家族と研究者のコラボレーションによる家族会支援の実際」が、日本家族看護学会から「家族看護グッドプラクティス賞」を受けました。

コーエン症候群は遺伝性の病気であり、世界的にも希少な病気であると言われています。子どものときから様々な症状があらわれるため、早期からの症状にあわせた健康管理や生活支援が重要です。2018年にコーエン症候群の患者・家族会である「日本コーエン症候群協会」が発足され、私は2020年より研究者として同協会のサポートを行って来ました。家族と話し合いを重ねながらコーエン症候群に関する学習会の開催、ガイドブック制作、海外の家族会との交流などを企画し、病気に対する社会的理解の促進や家族同士の繋がりの強化を図って来ました。今回、これまでの患者・家族と研究者の協働・連携による家族会支援の活動が評価され、日本家族看護学会より「家族看護グッドプラクティス賞」をいただきました。今後も両者が力をあわせながらコーエン症候群への理解を広め、いずれは指定難病に加えていただけるように様々な方面に働きかけていきたいと考えています。



東京家政大学初のオープンバッジ発行

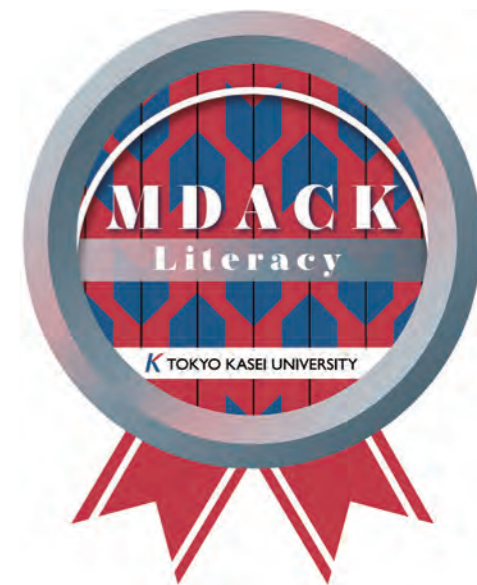
東京家政大学では2023年よりグローバルなデジタル証明書の規格に基づく「オープンバッジ」形式にて、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」(MDACK: Mathematics, Data science, AI Certificate Program in Kasei)の修了証を発行しました。

【修了証の役割について】

東京家政大学では専門科目をベースにした教育課程全体の修了による「学位」「資格」といった能力証明を提供して来ました。現在さらに各学生の積み上げた学びをより小さな単位で証明できるように「教育プログラム」を導入し、能力開発やキャリア育成へ活用していくことを目指しています。

企業でも「何ができるのか」という専門分野別の具体的な知識やスキルについての能力証明が重視される傾向にあり、本学の学生が自らの学びをアピールする手段が必要となっています。そしてこのような活用をするには、従来の紙の証明書とは異なる仕組みも必要となります。今回導入するオープンバッジは、こういった目的のために利用されているデジタル時代の新たな証明書です。世界中のどこからでもどのような教育プログラムを履修したのが即時に確認でき、かつ証明内容の改ざんが不可能な仕組みとなっています。東京家政大学では、導入の第一歩として、社会的要請の高い「デジタル時代の読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の能力証明をオープンバッジを利用して発行します。

これからも東京家政大学は「自主自律」を体現する卒業生を輩出する大学であり続けるため、時代の変化に対応した能力を育成できる科目・教育プログラムの提供、デジタル証明書オープンバッジの導入など、常に教育内容開発や新たな技術の導入を通じて教育改善を図ってまいります。



【オープンバッジのデザインについて】

造形表現学科 兼古昭彦先生

「オープンバッジ」は能力証明として用いられるほか、様々な意匠のバッジを集め、収集するモチベーションに繋がることも期待されたシステムであることから、メダル・勲章のイメージを含むデザインとなっています。

配色は学校法人渡辺学園の徽章やロゴにも用いられている「白」「赤」「青」を配し、ブランドイメージ統一を図っています。バッジ内部には、和洋裁縫伝習所より始まった本学の歴史及び、校祖渡邊辰五郎が女子の自立への力と意欲を育てる教育の題材として用いた「裁縫雛形の製作」にあやかり、博物館にも收藏されている裁縫雛形「矢絰(やがすり)」紋様を配しています。

学校法人渡辺学園の女子職業教育の象徴であった「裁縫雛形」は、現代でもその精神を受け継ぎ、学生の能力証明「オープンバッジ」として東京家政大学の学びに寄り添い続けます。